

社団法人に向かって基礎固めを

理事長 船越 昇

あけましておめでとうございます。

精華町シルバー人材センターは 2 年目の春を迎えました。今年は組織、運営両面で基礎固めを行い、社団法人への移行を円滑に進めたいと考えています。会員のみなさんの一層のご理解とご協力をお願いいたします。

発足当初は不慣れな点多々ありましたが、幸い大きな混乱はなく、法人化の要件である「年間就業延べ人員 5000 日人」を 8 ヶ月で達成することができました。しかも仕事にまつわる事故はほとんど発生しませんでした。これは、事務局職員の指導と会員のみなさんのご協力の賜物であると感謝しています。

センターが 2 年目に取り組まなければならない課題の第 1 は、社団法人の設立準備です。現行の任意団体から、社会的に一人前に認められる法人への 1 日も早い移行は、内外から強く望まれています。年内に設立総会を開いて京都府に認可を申請する段取りでいます。平成 16 年度中に社団法人に移行できることを期待しています。

第 2 の課題は組織と運営面の手直しです。初年度は発足年であり、とりわけ精華町都市緑化協会から移行された業務を円滑に処理することが大前提になっていましたので、事務局主導の運営になりました。しかし、シルバーの基本理念は「自主・自立」「共働・共助」にあります。組織運営や仕事の開拓、受注などにも会員が参画し、自らの創意と工夫で推進していくことが求められています。会員の自主性を引き出すため、専門部会や地域班、職域班を設置して、会員による、会員のためのシルバーに育てていきたいと願っています。

第 3 の課題は仕事分野を拡大していくことです。多くの会員にいろいろな仕事を紹介できていない理由の一つは、センターが受注する仕事の 8 割を除草、清掃などの一般作業が占めるなど職種が偏在しており、しかもある程度の技能を必要としていることです。より多くの会員に仕事を提供していくには、事業分野の拡大が不可欠です。これからはサービスの分野、とりわけ家事援助サービス分野の開拓に力を入れていきたいと考えています。さし当たって今年は、サービス事業の担い手になる会員の確保と、資質の向上を図るための研修講座の開催を考えています。植木剪定、草刈り、清掃などの研修も並行して開く計画です。

会員の丁寧な仕事振りが評価されて、シルバーに仕事を頼もうという風潮が地域社会の中に芽生えてきているのはうれしい現象です。法人に移行し社会的信用が増せば、シルバーへの仕事注文はさらに増えてくるでしょうし、シルバーの入会者も増加してくることでしょう。地域社会になくってはならない団体に成長しつつあるこの「未来団体」の礎を、会員みんなで築いていきましょう。